

石炭・コークス灰融点測定用 自動灰融点試験器

商品番号: KT-TE22



前書き

石炭およびコークスの厳格な分析のために設計されたこの高度な灰融点試験器は、最大1600℃までの自動昇温プロファイル、±3℃の優れた測定精度、カスタマイズ可能な等温保持サイクル、および統合された故障診断機能を備えており、要求の厳しい実験室業務において信頼性の高い融点特性評価を実現します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
石炭火力発電所	微粉炭灰の溶融挙動を監視し、クリンカー形成、ボイラー壁面のスラグ化、対流管束の汚れを予測します。	ボイラーの強制停止を削減し、スートブローのスケジュールを最適化し、ボイラー全体の熱効率を向上させます。
冶金用コークスおよび製鉄	高炉条件下でのコークス鉱物質の挙動を評価し、冶金用配合炭の灰融点を分析します。	高炉の通気性を保護し、溶銑品質を向上させ、羽口前の燃焼ダイナミクスを安定させます。
石炭ガス化および合成ガス製造	スラグ流動型ガス化炉および移動床反応器における原料の挙動を評価し、適切なスラグ流出温度を決定します。	ノズルの詰まりを防ぎ、均一な液体スラグ排出を維持し、耐火ライニングの耐用年数を延ばします。
商用燃料試験機関	第三者による商用仲裁、契約コンプライアンス審査、および固体鉱物燃料の認定分析報告を行います。	国内外の取引基準に適合した、説得力のある高精度な試験結果を高いスループットで提供します。
バイオマスおよび廃棄物混焼施設	農業用バイオマスや都市ごみに由来する低融点アルカリ灰成分と石炭灰との相互作用を評価します。	腐食性の共晶や複雑な凝集メカニズムを早期に発見し、過熱器の深刻な腐食を軽減します。
耐火物およびセラミック工学	高温セラミックコーン、釉薬、工業用耐火原料の熱可塑性変形および熱軟化を試験します。	高温複合材料の配合や窯道具の正確な熱境界識別を保証します。

パラメータカテゴリ	仕様属性	値 / 動作特性
装置モデル	アイテムコード	KT-TE22
方法論的基準	試験準拠	GB/T219-2008 / GB/T219-2004 (石炭およびコークス灰の融点測定のための標準試験方法)
熱性能	温度測定範囲	0℃ ~ 1600℃
熱性能	温度測定精度	±3℃
加熱ダイナミクス	900℃までの昇温速度	15℃/分 ~ 20℃/分 (ユーザー選択可能)
加熱ダイナミクス	900℃以降の昇温速度	5℃/分 ± 1℃/分 (自動線形制御)
加熱ダイナミクス	加熱モードオプション	自動標準昇温またはカスタマイズ可能なプログラム熱プロファイル
時間精度	クロノメトリック時計のタイミング誤差	1秒/時未満 (< 1秒/時間)
時間精度	等温プログラム機能	ユーザー定義可能な時間指定恒温保持ルーチン
診断アーキテクチャ	システム保護および自己診断	リアルタイムの複数エラーアラームとオペレーターへのプロンプトを備えた自動故障識別

パラメータカテゴリ	仕様属性	値 / 動作特性
電気の要件	定格動作電流	30A
電気の要件	電源仕様	220V AC $\pm$ 10%, 50 Hz
対象試料	試料適合性	石炭灰、冶金用コークス灰、合成固体燃料、および鉱物残留物コーン